

UniTECT 70SF

— 防食塗料のシステム革命 —
ウレタンのコストで
ふっ素の品質!

ユニテクト70SFは、
経済性と環境性能に優れた
ふっ素樹脂塗料です。

総合的にコストダウンを実現

- 中塗上塗兼用の工程短縮でイニシャルコスト低減
- ふっ素樹脂の長期耐久性でランニングコスト低減

環境性能にも配慮

- 低VOC・低汚染性

塗装対象物 電力・ガス・石油等のプラント設備や橋梁

ALESCO 関西ペイント

【お問い合わせ】
関西ペイント販売株式会社

防食塗料販売本部

0120 - 646 - 201

環境に優しい超耐久性塗装システム

VフロンHB シリーズ

厚膜形ふっ素樹脂塗料

VフロンHB
VフロンHBクリーンスマイル

LUMIFLON

- ① 超耐候性
【最高級フッ素樹脂塗料】
- ② 環境対応
【省工程・弱溶剤】
- ③ 厚膜性
【刷毛・ローラー、
スプレー55μm/回】
- ④ 幅広い用途
【新設・塗り替え
塩害地区にも適用】

・・・形に似せしさをそえて・・・
本来へつなく

DNT
DAI NIPPON TOKYO

大日本塗料株式会社

●大 阪 06-6466-6626 ●東京 03-5710-4502
●名古屋 03-332-1701 http://www.dnt.co.jp/

塗料相談室フリーコール 0088-22-1641

防錆・防食技術が 社会を支える

日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 准教授 大野 茂

戦後日本が成長を続ける中で蓄積されてきた建造物や鋼構造物、道路、鉄道などのインフラの多くが耐用年数を迎える時期となっている。高度成長期であればスクラップ&ビルドという発想から更新が進められるところだが、国際的にも経済は低迷を続けており、更新どころかメンテナンスすら十分に実施されているとは言えないのが現状である。経済的損失のみならず、信頼性や安全性の面でも不安が広がりつつある。そこで鉄鋼材料の維持管理に対応する防錆・防食技術の適用が不可欠となっている。

インフラ維持に不可欠

保全費用、設計段階から配慮

欧米に比べて日本でも設計段階から配慮すべきだと考える。インフラ維持は日本の計画やその予算措置について、リスクの高いと言われる原子力発電所や化学プラントなどを除いても十分な配慮がなされてこなかった。半年度予算などへの対応やとくに造るという発想、保全費用の削減が優先されてきた。最近の経済状況を反映して、メンテナンスが不十分であっても事故が起るまで、使えるうちに使おう、という状況になつており、延命のための技術開発を求める声も多い。

ところが想定外の自然災害や寿命を超えての供用は逆に大きな損失を生む結果となる。当初から寿命をデザインし、長期供用が求められる対象についてはメンテナンスを含めた寿命設計が必要と、国民総生産(GNP)比では1.72%から

防錆技術協会の活動

教育・研修活動で貢献

日本防錆技術協会は、57年4月に設立されて以来、防錆技術の向上とその普及活動を継続してきたことが大きく貢献している。防錆・防食技術に関する分野は、金属材料、有機材料、電気電子、化学、電気化学など多岐にわたっている。今年52回目の開校となった通信教育、防錆技術学校では基礎教育と防錆技術に力を入れている。学会機関誌と異なり、テクニカルレポートなど現場に直

に修業し、防錆管理士に認定された者は全国1万数千人となり、インフラの維持管理など現場で、その知見を生かした活動が続いている。さらに日々進歩する技術に対応するため修業生有志による防錆管理士会が組織され、修業後も研修や技術情報の収集などの活動をしている。この技術情報については、協会機関誌「防錆管理」が大きな支えとなっている。学会機関誌と異なり、テクニカルレポートなど現場に直

第51回防錆技術学校修業式



2月12日に開通した東京ゲートブリッジには重防食塗装が施され、塩害や紫外線などから守られている。



第51回防錆技術学校修業式では287人に修了証を授与した。既に1万数千人を超える防錆管理士が国内外の第一線で活躍している。

塗る亜鉛めっき、ROVAL。

塗膜中の亜鉛含有率96%、
亜鉛の電気化学的な働きで強力さび止め。

ローバルは、乾燥塗膜中の亜鉛含有率を96%にまで高めることで、溶融亜鉛めっきと同等の防錆力を塗料で実現。亜鉛粒子の電気化学的な働きにより、鉄をさびから強力に守ります。また、扱いやすい液タイプなので、面倒な混合作業の必要はなく鉄面、亜鉛めっき面に直接塗装できます。

【用途】鉄のさび止め、亜鉛めっきの補修(切断面、溶接部など)、めっきの代替(大物、薄物)、古くなった亜鉛めっきのリフレッシュ



低VOC
塗料

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

簡単
塗装

上塗り
下塗り
不要

長期
メンテナンス
フリー

国土交通大臣認定、
建設技術審査証明 取得
NETIS登録 KK-090014-A

亜鉛末

SINCE 1955
ROVAL